

地産地消商品の開発



2006年、地産地消商品として、**上州餃子**、**上州焼売**、**地粉すいとん**、**群馬県産小麦使用ナン**、**舞茸おにぎり**をご紹介した当初は、「地産地消」という言葉の意味を先づご説明しなければなりませんでしたが。しかし今ではお客様の間でも、地産地消はすっかり身近なものとなりました。先日の本社大展示会でも、地産地消商品のコーナーは、多くのお客様で賑わい、多くの方が興味をお持ちであることがわかりました。これからは、地産地消商品を選ぶお客様の目も厳しくなっていくと思われまます。今後も地元地域とお客様のご要望ご信頼にお応えできる商品を開発していきたいと考えています。

2008年箕郷産ブルーベリーを有効利用するため考えられた「みさと産ブルーベリージャム」は、群馬県内各地で栽培されたブルーベリーでも作られるようになり、「群馬県産ブルーベリージャム」も登場しました。右に給食で食べた児童の声をご紹介します。

また、今年度は、前橋と高崎の両市で人気の給食献立を交換する食育推進事業がスタートしました。その献立にも当社の地産地消商品「群馬県産ブルーベリージャム」と「上州ポークのコロッケ」が採用されました。

●食べた児童・生徒の声

- ・ジャムは甘さ控えめで、ほどよくすっぱくておいしかった。
- ・梅ジャムもあったけど、ブルーベリーもおいしかった。
- ・ブルーベリーの粒が大きく残っていたのもいい。
- ・砂糖だけで作ったので安心して食べられた。またぜひ食べたい。

〈高崎市のホームページから〉

【今後の展開】
昨年商品化しました群馬県産むき枝豆「湯上がり娘」は、大粒で味が濃くたいへんご好評いただいています。そこでその味を生かしたコロッケやすり身製品への展開を計画中です。また、榛名地域名産の梅のエキスを含ませた飼料で飼育された鶏肉、「はるなうめそだち」（柔らかい肉質が特徴）を使用したハンバーグ、ミートボールはご紹介済みですが、同様に飼育された豚肉を使ったコロッケの商品化も検討中です。ジャガイモ・タマネギも県内産で賄えますので強力な地産地消商品になります。



地産地消商品の種類や内容の充実を図りたいと考えていたところ、栄養士さんから、ドレッシングがまだないとのことご意見をいただきました。メーカーとも色々相談を重ねた結果、このほど群馬県産タマネギのみを使用した上州タマネギドレッシングが完成いたしました。通常では考えられない量のタマネギ（全体量の28%）を使用し、すりおろしたタマネギの食感が味わえる酸味と甘味のバランスのとれたおいしいドレッシングに仕上がりました。今夏、お届けできる予定です。

2006年の販売以来、ご愛用いただいている「舞茸おにぎり」（群馬県産米ゴロピカリ、まいだけ使用）は、今後、農産品直売所、ホテル、公営の宿泊施設にて利用していただくことにより、県外のお客様にも広く知っていただきたいと考えています。さまざまな形で群馬県産商品の普及と地域振興に貢献できる企業を目指します。



関東食品株式会社



*この用紙は再生紙を使用しています

高崎本社 ◆群馬県高崎市綿貫町 2223-1 ☎(027) 352-6521 FAX (027) 353-1117
 埼玉支店 ◆埼玉県鶴ヶ島市柳戸町 7-1-1 ☎(049) 285-0013 FAX (049) 285-0057
 館林営業所 ◆群馬県館林市小桑原町 1393-3 ☎(0276) 72-9911 FAX (0276) 72-9915
 秩父営業所 ◆埼玉県秩父郡皆野町皆野 1131-1 ☎(0494) 62-5685 FAX (0494) 62-5687
 関東フーズ ◆群馬県佐波郡玉村町板井 97-1 ☎(0270) 75-3051 FAX (0270) 75-3061

関東食品株式会社 環境報告書

2009年度

【企業理念】

人間尊重を経営の基本とし、健康で心豊かな生活の実現のため、安心安全な食の提供を通じて地域社会に貢献できる企業を目指します。

【経営方針】

1. 地域・お客様・取引先と共生する組織であること
2. 健全な利益を追求する組織であること
3. 従業員と共にたえず成長できる組織であること
4. 生きた情報を常に発信できる組織であること



【環境方針】

- I. 基本理念

関東食品グループは、創業以来、学校給食を通じて、安心安全な食材を提供することにより、時代を担う子供達の健全な育成に貢献できる企業を目指してまいりました。今後は、時代環境に適応し、より多くの人々により安心安全な食材を広く提供できるよう、すべての事業活動において環境に配慮し、地球環境の保全に取り組み、事業経営との調和をはかり豊かでクリーンな社会の実現に努めてまいります。
- II. 基本方針
 1. 当社グループの事業活動にかかわる環境影響を認識し、事業活動による環境汚染を未然に防止します。
 2. 環境に関連する法規制や当社グループの合意した事項を順守します。
 3. 継続的な改善のため、次の活動について目的・目標を設定し、必要に応じた環境マネジメントシステムの見直しを実施します。
 - (1)安心・安全な食材を提供するため地元地域、取り引きメーカーの協力のもと、地産地消商品を開発し普及に取り組みます。
 - (2)ムダやロスを防止することにより、省エネ・資源及び、コストの削減をはかります。
 - (3)環境に配慮した食材配送を実践します。
 4. 環境方針は全従業員に周知徹底し、その達成に努めるとともに、社外にも公表することとします。
 5. 地域社会やお客様とともに環境について考え、積極的な環境活動と環境保全に努めます。

*環境方針を一部改定致しました

2004年にISO14001の認証を取得した当社は、2010年9月に2回目の更新審査をむかえます。これを機に、環境方針を見直し、より経営方針に沿った時代のニーズにかなう形を目指し、改定しました。

2009年度の目標と実績/2012年度までの3カ年目標

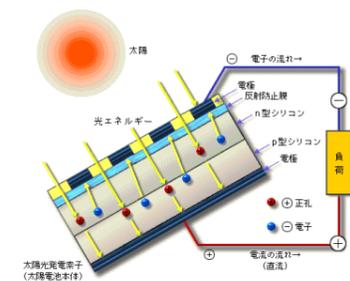
項目	目的	2009年度目標	2009年度実績 (評価)	2010年度目標	2011年度目標	2012年度目標
省エネルギー	電気使用量の削減	'06年度比 5%減	1541518kw 5.5%減 (○) フーズ 202884kw (移転後の年間数値)	4事業所'09比 1%減 フーズ'09比 15%増	同 2%減 同 20%増	同 3%減 同 25%増
	燃費の向上	'06年度比 2%減	7.78km/l 1%向上 (△)	太陽光発電設置準備 (調査・最新情報の収集) 運用管理 ('09年度数値の維持) 随時 低公害車 エコタイヤへ切り替え、エコ運転教育		
省資源	紙使用量の削減	'06年度比 8%減	533385枚 6%減 (△)	運用管理 受注FAXペーパーレス化が実現した場合数値目標設定		
	紙のリサイクル率向上	60%	1958/3277kg 60% (○)	62%	65%	70%
	グリーン購入	80%	557万円 82% (○)	運用管理 80%以上の購入を維持する		
環境配慮	地産地消商品の推進	前年比 40%増	7400万円 85%増 (◎)	地元地域・メーカーと協力して新商品の開発 '09比 1億4千万円 (190%増)		1.5億円 (200%増) 1.65億円 (225%増)
	環境に優しい商品の提案	前年比 20%増	1億5880万円 26%増 (○)	容器に関してメーカーの環境意識が向上している。売り上げ数値の推移を把握		
廃棄物	食材廃棄品の削減	'07年度比 20%減	処分品売上差損額 4545千円 20%減 (○)	'09年度比 20%減	運用管理	
	事故発生件数の削減	0件	9件 増加 (×)	商品ロスの削減 数値把握	数値目標設定	
社会貢献	従業員環境意識向上	-	部門長教育の実施	監査員教育の充実と増員、社内トレーナーの育成・家庭の省エネ奨励 環境会計の導入、エコ関連情報の配信		
	社会貢献活動の推進	-	鶴ヶ島圏央会地域清掃活動 (埼玉)	県・市町村の環境活動、食育活動に参加 県・市町村のエコ活動参加の呼びかけ		

太陽光発電

【発電のしくみ】
太陽電池は半導体でできていて、その原子は太陽光があたると「+」「-」に分かれる性質があり、この「+」「-」の発生が電気を作り出す第一段階です。「+」「-」が発生しただけでは電気は作れません。「+」「-」を両極に分ける必要があります。そこで太陽電池の半導体はあらかじめ「+」が集まるP型半導体と「-」が集まるN型半導体に分けられます。両極に分けることにより電池として機能します。そこで電線をつなげば電気を取り出すことができます。

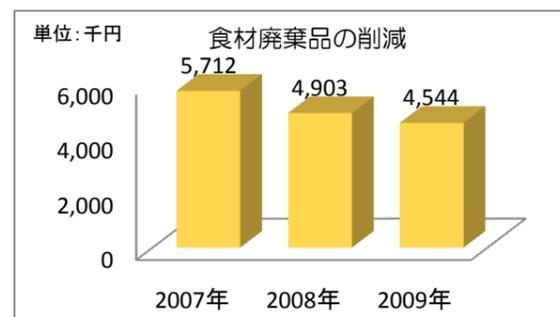
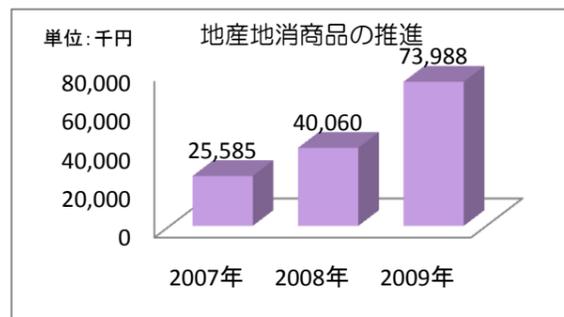
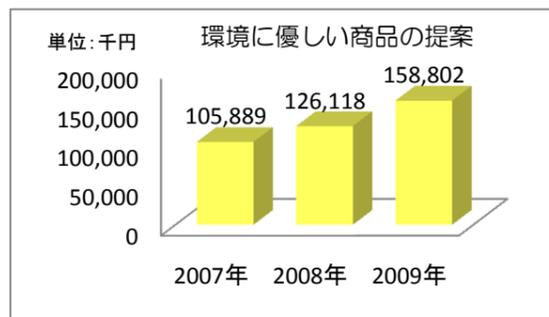
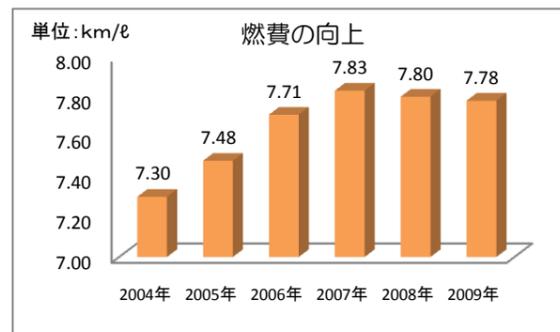
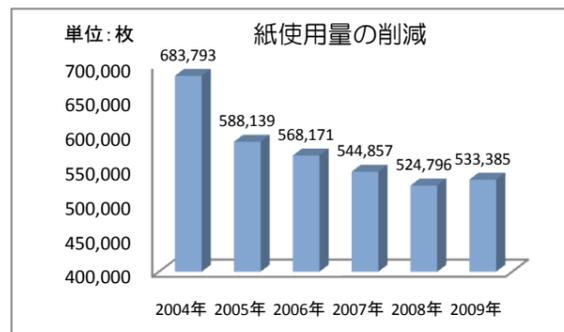
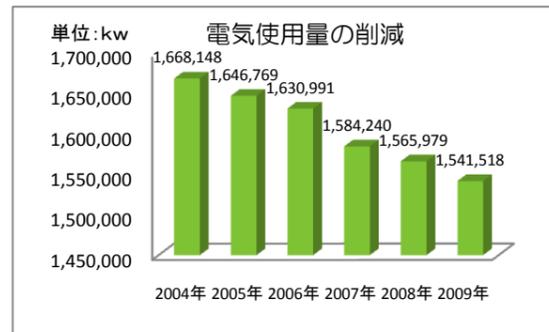


ソーラーパネル



太陽電池のしくみ

導入メリット		
③	②	①
補助金などの優遇	企業環境貢献	光熱費削減
導入デメリット		
③	②	①
運用期間が長い	減価償却が長い	初期投資が高い



コミュニケーション

【工場見学】

2008年8月に新工場に移転した関東フーズには、'09年3つの学校・センターが、工場見学に訪れました。製造工程を実際に見て更に冷凍温度を体感していただくことにより、商品の安全性を理解していただけたと思っています。

【工場視察】

取り扱い商品をお客様に自信を持ってお届けするため、今年度本社・埼玉の営業・仕入担当者がニチロサンフーズ湯沢工場とテーブルマーク福岡工場に視察にでむきました。最新の設備と衛生的に配慮された工場に、より一層の安心感を得ることができました。

【社会・環境報告書】

2009年は取引先のうち、ニチレイ・ハウス・極洋・シマダヤの各社より、報告書をいただきました。僅か4ページの弊社の報告書ですが、2008年度版は、およそ500軒のお得意様に配付させていただきました。